

滋賀県緩和ケア研修会 単位型統一研修プログラム

別添2

第9回 A 研修 平成30年3月3日(土)

( 公立甲賀病院 会場 )

開始時間	終了時間	所要時間	単位数	内容	会場	対応する開催指針の形式	対応する開催指針の項目 (対応する項目番号)	備考
9:00	9:15			受付	3階 会議室			
9:15	9:25	10		プレテスト		プレテスト		
9:25	9:40	15		研修会の開催にあたって		講義		
9:40	10:25	45	0.5	患者視点 (M2a 緩和ケア概論)		講義等	⑥ 患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて (がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見直しについての説明も含むこと)	
10:25	10:35			休憩				
10:35	11:20	45	0.5	苦痛のスクリーニング (M2b つらさの包括的評価と症状緩和)		講義	① 苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について	
11:20	11:50	30	0.25	がん疼痛① (M3 がん疼痛の評価と治療)		講義	② がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について (放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点及び多様化する医療用麻薬の使用上の注意点などにも配慮した内容であること)	
11:50	12:40			昼食				
12:40	13:40	60	0.75	がん疼痛② (M3 がん疼痛の評価と治療)		講義	② がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について (放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点及び多様化する医療用麻薬の使用上の注意点などにも配慮した内容であること)	
13:40	13:50			休憩				
13:50	14:10	20		アイスブレーキング				
14:10	15:40	90	1	がん疼痛ワークショップ (M4 がん疼痛事例検討)		グループ演習/ ワークショップ	③ がん疼痛についてのワークショップ (ただし、2単位を同日に実施すること) (ア)グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方	
15:40	15:50			休憩				
15:50	16:50	60	0.5	地域連携 (M9 療養場所の選択と地域連携)		講義/ グループ演習/ ワークショップ	⑨ がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケアの実際について	
16:50	17:00			休憩				
17:00	17:45	45	0.5	身体症状 (M6a 呼吸困難)		講義	④ 呼吸困難、消化器症状等のがん疼痛以外の身体症状に対する緩和ケアについて (治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む)	
17:45	17:55	10		ポストテスト	プレ・ポストテストの解説と総括			

第9回 B 研修 平成30年3月4日(日)

( 公立甲賀病院 会場 )

開始時間	終了時間	所要時間	単位数	内容	会場	対応する開催指針の形式	対応する開催指針の項目 (対応する項目番号)	備考
9:00	9:15			受付	2階講堂			
9:15	9:25	10		プレテスト		プレテスト		
9:25	9:40	15		研修会の開催にあたって		講義		
9:40	10:25	45	0.5	身体症状 (M6b 消化器症状)		講義	④ 呼吸困難、消化器症状等のがん疼痛以外の身体症状に対する緩和ケアについて (治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含むこと)	
10:25	10:35			休憩				
10:35	12:05	90	1	がん疼痛ワークショップ (M5 オピオイドを開始するとき)		ロールプレイ/ ワークショップ	③ がん疼痛についてのワークショップ (イ)ロールプレイングによる医療用麻薬を処方する時の患者への説明についての演習 (「医療用麻薬の誤解を解く」、「医療用麻薬の副作用と対策の説明を行う」等)	
12:05	13:05			昼食				
13:05	13:25	20		アイスブレーキング				
13:25	14:10	45	0.5	精神症状 (M7a 気持ちのつらさ)		講義	⑤ 不安・抑うつ及びせん妄等の精神心理的症状に対する緩和ケアについて	
14:10	14:55	45	0.5	精神症状 (M7b せん妄)		講義	⑤ 不安・抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて	
14:55	15:05			休憩				
15:05	17:20	135	1.5	コミュニケーション (M8 コミュニケーション)		講義とロールプレイ/ ワークショップ	⑦ がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについて (がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見直しについての説明も含むこと) ⑧ がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについてのワークショップ (ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習) (がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見直しについての説明も含むこと)	
17:20	17:30			休憩				
17:30	17:40	10		ポストテスト		プレ・ポストテストの解説と総括		

- 注1 内容は、特定非営利活動法人日本緩和医療学会が指針に準拠するよう開発した医師に対する緩和ケア教育プログラムによる。  
なお、同プログラムにおける研修項目「研修会の開催にあたって」については、A研修およびB研修のそれぞれにおいて、必要に応じて実施すること(内容および時間は適宜とする)。  
また、当日終了時には、その日の研修の振り返りを適宜行うこととする。
- 注2 各研修区分に含まれる研修項目およびその内容の省略は、認めることができない。ただし、同一主催者が開催するA研修およびB研修のうち、後に開催する研修区分について、参加者の全てが、先に開催した研修区分に参加していた場合には、研修項目のうち「研修会の開催にあたって」「アイスブレーキング」を省略することができる。
- 注3 1単位は、1.5時間(90分)以上とし、各研修区分の単位の割付は4単位とする。よって、A研修およびB研修の2区分通算8単位を修了することにより、「滋賀県緩和ケア研修会」の修了とする。
- 注4 A研修の中における研修項目の順序変更および午前・午後の時間割(配分)については、主催者の判断により実施すること。B研修についても同様とする。
- 注5 研修項目「がん疼痛ワークショップ(がん疼痛事例検討)」および「地域連携(療養場所の選択と地域連携)」の症例は、主催者の判断により選択すること。
- 注6 研修項目「その他(倦怠感、不眠、家族のケア)」については、必要に応じて主催者の判断により実施すること。
- 注7 プレ・ポストテストなどの参加者の知識を確認する内容を組み込み、プログラム評価の参考にすること。